（参考例）

（記載上の留意点やフォーマット等、一応の目安です）

氏名　豊 中 三 郎

研究･開発、組織・人材マネージメント、研究支援、教育・人材育成

などの経験に関する一覧

これまでに従事した研究･開発、組織・人材マネージメント、研究支援業務、教育や人材育成などの経験について、主たるものを下記リストに簡潔に記入してください。必要に応じて欄を増やしてください。

１．これまでに従事した研究・開発活動や業務について

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 従事した研究開発活動･業務 | 実施 場所 | 期間 | 応募者の役割 | 利用した分析機器や解析法など |
| 1 | 接着特性劣化の原因究明のための接着表面状態評価 | 財団法人A 研究所 | 2005 ~ 2007 | 主任研究員として分析方法などを検討･指示。データの検討 | XPS, SIMS, TEM |
| 2 | 疾病診断用の機能性ナノ粒子の開発と特性評価 | B大学 工学部 化学科 | 2007 ~ 2010 | 疾病の迅速検知のため表面修飾を行った蛍光ラベルしたナノ粒子の開発。その粒径評価、ならびに病原検知特性の評価 | TEM, SEM 蛍光顕微鏡 フローサイトメター |
| 3 | 新規開発された界面活性剤の残留特性と分解性の評価 | C株式会社 化学分析部 | 2010 ~ 2015 | 新規開発された界面活性剤の特性評価 | LC-MS 動的光散乱法 NMR |
| 4 | 抗がん剤の新規合成とその特性評価 | D大学  工学研究科  応用化学 | 2015 ~ | 抗がん剤の新規合成  構造解析 | LC-MS  NMR X線回折装置 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

２．これまでに従事したマネージメント業務･支援業務･教育･人材育成について

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 従事したマネージメント･ 支援業務･人材育成･教育 | 実施 場所 | 期間 | 応募者の役割や業務内容など |
| 1 | 中央分析室の質量分析グループの統括と後進指導 | A製薬 中央研究所 | 2005 ~ 2010 | メンターとして、新入社員2名（蛋白質質量分析担当）の育成を担当 |
| 2 | 機器分析室の運営 | B大学 理学部 機器分析室 | 2010 ~ 2015 | 室長として、分析依頼者への技術対応、ならびに分析室担当者への指示、分析室の運営 |
| 3 | 分析化学について授業 | D大学  工学研究科  応用化学 | 2015 ~ | 学部2年生向けに分析化学の授業を担当（週1コマを6ヶ月間） |
| 4 | 研究支援人材向け研修プログラムの開発とその実施 | D大学  コアファシリティ機構 | 2020 ~ | コアファシリティ機構からの要請を受け、技術職員向けに機器分析研修プログラムを開発。講師として3回の研修を実施 |
|  |  |  |  |  |